

1991年(平成3年)新年号(1)

西別院だより

謹賀新年



賀 正

修正会(元旦会) 1月1日午前6時30分よりおつとめ・法話・

ご流盃

月忌は(12月29日より1月5日まで)お休み
しますのでご了承下さい。



新年明けまして お芽出とうございます

本願寺小樽別院

輪番 山田 博道

年新まり、暦は一年を経てまた一に戻つてまいりました。だが、一に戻るのは一になる為ではあります。それは一から出直して前の年を越えた、より良き年を展開せんとして戻つて来たのです。例年のことながら、新しい年を迎えるに過ぎし一年、どれ程充実していたかを静かに振り返ってみたものです。

ところで皆さんは、元旦に「お屠蘇」をいただかれましたか。最近ではお屠蘇をいただく家庭が少なくなつたと言われています。中には、元旦にいただくお酒を「お屠蘇」と早合点していられる方もあるようです。

「屠蘇」とは「屠蘇延命散」とも言い、元旦に飲むお酒にひたすら薬の名前で、それは中國魏の華佗という名医が処方したもので、その中身は、山椒・肉桂皮・防風・桔梗・白朮・蜜柑皮・赤小豆で、日本では伝教大師最澄、弘法大師空海が中国唐より帰朝された、今より千百年前ころの平安時代より用いられ、これをお酒に浸して元旦に飲むと、一年の邪気を払い、老年への順に杯をまわして、めで

んとして戻つて来たのです。例年のことながら、新しい年を迎えるに過ぎし一年、どれ程充実していたかを静かに振り返ってみたものです。

たい若返りのお祝いの行事なのであります。このことは、いつまでも若くありたい、そして長寿でありたいという人間の願望を表したもので、集經」という経の註釈に精魂を傾けられましたが、途中で病に倒れ、その完成には何んとしても長寿でなくてはならないと、大旅行をしてやつと不老不死の仙人になる教えを手に入れ、得意満面で郷里に帰る途中、たまたま菩提流支三藏に遇い、その仙経を見せた途端、そんなものにどれ程の価値があるうか、たとい如何に生き長らえたとしても、必らず死なねばならない、そして生死流転を重ねるだけだよ、いまこの『觀無量壽經』(淨土三部經の一つ)に説かれるみ教えこそは、生死の迷いを離れて無量の寿を得させていただくお法であると論され、その場で仙経を焼き捨てて淨土のみ教えに帰順させられたのです。親鸞聖人はそのことを『正信偈』に

三藏流教授淨教 焚燒仙經帰樂邦と讀ぜられています。

淨土真宗のみ教えを伝えて下さった七高僧さまの第三祖の中国の曇鸞大師は、三十巻より成る『大

きをもつて受けとめることの出来ます。このことは、いつまでも若くありたい、そして長寿でありたいという人間の願望を表したもので、集經」という経の註釈に精魂を傾けられましたが、途中で病に倒れ、その完成には何んとしても長寿でなくてはならないと、大旅行をしてやつと不老不死の仙人になる教えを手に入れ、得意満面で郷里に帰る途中、たまたま菩提流支三藏に遇い、その仙経を見せた途端、そんなものにどれ程の価値があるうか、たとい如何に生き長らえたとしても、必らず死なねばならない、そして生死流転を重ねるだけだよ、いまこの『觀無量壽經』(淨土三部經の一つ)に説かれるみ教えこそは、生死の迷いを離れて無量の寿を得させていただくお法であると論され、その場で仙経を焼き捨てて淨土のみ教えに帰順させられたのです。親鸞聖人はそのことを『正信偈』に

ともどもにこの一年、淨土真宗のみ教えに耳を傾け、このお法に遇えて本当によかつたなあと、喜びをもつて受けとめることの出来る年にしたいものです。

明日を開く 日曜佛教講座

— 親鸞聖人の生き方に学ぶ —

毎月第1、第3日曜日

午前9時30分～10時30分

合掌

電話で聞こう
3分法話

TEL 27-1616
24時間、いつでもダイヤルして下さい。

1991年年回表(平成3年度)

50	33	27	23	17	13	7	3	1
回	回	回	回	回	回	回	回	周
回忌—昭和17年亡	回忌—昭和40年亡	回忌—昭和44年亡	回忌—昭和50年亡	忌—昭和54年亡	忌—昭和60年亡	忌—昭和66年亡	忌—昭和72年亡	平成元年亡
50回	33回	27回	23回	17回	13回	7回	3回	1周

小樽別院テレフォン法話

毎日の心のアドバイスを3分間

TEL 27-1616
24時間、いつでもダイヤルして下さい。

過去といふまたもかなしき暗がりのなかに空しく今年も入るや 九条 武子

ご案内

小樽別院 TEL 0134-22-0744

お晨朝 每朝6時30分

常例布教

毎月7日-11日 巡回布教使
13日-16日 リ

佛教青年会

毎月2,3回開催 午後4時より

佛教婦人会

毎月27日正午 (おときあり)

佛教壮年会

毎月6日午後7時

アソカ会

毎月1回

16日午後2時

日曜学校

毎月最終日曜日、8時30分

カブ・スカウト

毎月第2・4土曜日 午後2時より

ボーイ・スカウト

準備中

おつとめ教室

最終土曜日 3時~4時
(期間4月~11月迄)

十九日講

奥沢会館 19日正午より

各説教所の案内

- 緑説教所 無量講9日午後6時より
- 若竹説教所 彰心会7日午後7時より
- 奥沢説教所 樹心会5日午後7時より 唯信講10日正午より
- 新光説教所 法友会13日午後6時より

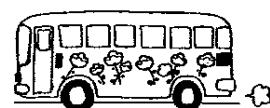
小樽幼稚園 園児募集中

(定員150名)

- 通園バス運行
- 年間を通じて週1回温水プール遊びをいたします。

一教育目標

すなおで 明るく 元気な子



○毎朝み佛さまにお参りするしつけと宗教情操教育を重点としています。

○明治44年10月15日に開園し、79年の歴史をもつ園です。



別院門信徒の幼児は小樽幼稚園に!!

お問い合わせは下記に電話して下さい。

若松1丁目4番17号 ●小樽幼稚園 TEL 0134-22-6536

●小樽別院 TEL 0134-22-0744

園児募集

若竹保育所 (定員45名)

若竹町5番2号(若竹湯ウラ)

TEL 22-6539

- 未満児 1歳児~2歳児
- 以上児 3歳児~5歳児

新光保育園 (定員80名)

新光1丁目33番7号

(自動車学校向小路)

TEL 54-8145

- 乳幼児 0歳児保育
- 未満児 1歳児~2歳児
- 以上児 3歳児~5歳児



*お問い合わせは、各保育園(所)へ

*お申し込みは、市役所児童家庭課へ
(32-4111番)